

市民公開講座

三陸サケの復興を願って

さーもん・かふえ2015

4th Salmon Café



日時:平成 27 年 7 月 10 日(金)13:30~11 日(土)12:00

場所:エスポワールいわて

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通り 1-1-38

TEL: 019-623-6251, <http://www8.ocn.ne.jp/~espoir>

主催:「さーもん・かふえ」実行委員会

共催:東京大学大気海洋研究所, 岩手県

開催趣旨

「さーもん・かふえ」は「東北マリンサイエンス拠点形成事業」の一環として行われており、「東北地方の水産業の基幹産業であるサケ資源の回復と持続可能な利用並びにサケ増殖体制の確立を図ること」を目的としています。その目的と「三陸の水産が元気にならなければ、日本の水産はダメになる」という思いから、私たちの次の世代が安心してこの三陸の地に住み、生活基盤として漁業の営みを続けて行けるような社会をめざしたい。そのために、三陸サケ資源のリハビリテーションにつとめたい。そのような考えから、この「さーもん・かふえ」では、三陸サケの情報ネットワークとしての役割を果たしていきたいと思えます。

- 1) これまでサケづくりで悩んできた皆さんの「問題点」を共有化し、ともに解決していく場を提供します。
- 2) サケを取りまく情報(e.g., 温暖化, 気候レジームシフト)を発信します。
- 3) サケに関する皆さんの憩いの場, 相談の「場」をめざします。

プログラム

7月10日(金)

13:30 開会挨拶

佐久間 修(岩手県水産技術センター所長)

木暮一啓(東京大学大気海洋研究所副所長, 教授, 東北マリンサイエンス
拠点形成事業(海洋生態系の調査研究)副代表機関代表研究
者)

〈トピック・セッション〉

13:40 「大槌湾における回帰親魚の行動解析」

野畑 重教 (東京大学大気海洋研究所)

14:10 「三陸岩手のサケの遺伝的特徴」

塚越 英晴 (岩手大学三陸水産研究センター)

14:40 「(仮)ストレス条件下での飼育によるシロザケ稚魚の腸内細菌の変動」

清水 恵子 (北里大学)

15:10 「北海道・東北地方におけるサケ製品取引の歴史」

清水 幾太郎 (北海道区水産研究所)

15:40

<休憩>

16:00 「最近の北海道のサケの動向」

永田 光博 (道総研さけます・内水面水産試験場, 主査)

16:30 「宮城県におけるサケ資源動態」

佐藤 好 (宮城県内水面水産試験場)

17:00 「岩手県におけるサケ資源動態」

小川元(岩手県水産技術センター)

17:30 「サケ類の食事」

帰山 雅秀・秦 玉雪 (北海道大学)

7月11日(土)

9:00 ディスカッション「何でもハナスベー」

(コーディネイター)

帰山 雅秀 (北海道大学)・小川 元 (岩手県水産技術センター)

<話題提供>

青山 潤 (東京大学大気海洋研究所)「三陸サーモンチャレンジー東大大海研のサケ研究」

秦 玉雪 (北海道大学農学研究院)「サケ仔魚のeDNAの挙動比較ー砂利とネットリング」

<その他>

10:55 閉会挨拶

山内皓平(愛媛大学南予水産研究センター長, 岩手大学三陸復興推進本部客員教授)